

# インターナショナルスクール 来春始動

## 八戸学院グループ

八戸市の学校法人・光星学院の100%子会社「八戸学院グループ」の大谷真樹社長は14日、本紙などの取材に対し、来年4月に中学卒業以上の生徒を対象としたインターナショナルスクール「インフィニティ国際学院」を開校することを明らかにした。世界に通用する人材育成が目的で、入学から修了までの3年間の多くをアジアなど海外で過ごし、語学力や世界的な視点を磨く。各国を旅しながら学びつつ、日本の通信制高校と連携して修了時には高校卒業資格も取得できる日本初

(須田山裕太)

# 世界を旅して学ぶ



学生の学習拠点となる語学学校「CNE1」＝フィリピン

## 高卒資格取得も可能

大谷氏によると、同学院は学校教育法に基づき「学校」ではなく、学習塾などと同じ位置付け。「世界を旅しながら学ぶ」がコンセプトで、国への設置認可などは必要なく、校舎や設備も光星学院が持つ既存施設や提携校の施設を活用する。学生たちはフィリピンにある光星学院グループの語学学校「CNE1」を拠点に学習する。

1年目はCNE1に留学して英語や中国語を集中的に学習。2年目は5〜10人程度のグループを編成し、希望に応じてラオスやインドネシア、ネパールなどアジアを中心とした各国を巡る旅に出て、非政府組織(NGO)活動や国際インターンシップなどを体験し、将来の進路イメージを



来年4月に「インフィニティ国際学院」を立ち上げる考えを明らかにした大谷真樹社長(14日、八戸市)

探る。

3年目は大学進学や起業など、自身の将来に向けた準備期間と位置付け、語学のさらなるスキルアップやアドミッション・オフィス(AO)入試による大学への進学を目指す。

入学には英検準2級以上の語学力が必要で、来年3月に卒業する中学生か、高校進学後にまだ卒業していない若者を中心に募集する。来春の入学生は定員40人。今年11月から募集を始め、書類審査と面接で選考する。学費は3年間で800万円程度を想定。学院長には大谷氏が就き、国際ジャーナリストの木村太郎氏や元グーグルジャパン社長の村上憲郎氏が顧問を務める。

高卒資格の取得に関しては、光星学院が連携協定を結んでいる八洲学園大国際

高(沖縄県)と提携。レポート作成と年1回の短期スクーリングを行うことで必要単位が取得できる。

大谷氏は「今の日本の教育は世界の変化に十分に対応できていない」とグローバルな人材育成の必要性を強調。「世界に視野を広げたいという若者にぜひ入学してほしい」と訴える。